



福王寺だより

去年も暑かったのですが、今年は浜松で四十度の猛暑を記録し、集中豪雨等、日本全体が亜熱帯のような気候になってきたのではないかと思います。

また新型コロナウイルスが蔓延し半年も過ぎ、生活が変容せざるを得ない状況の中、不安やストレスを抱えて息苦しさを感じているのではないかと拝察します。

こうした苦しい中でも、助け合い、幸せを感じる一日でありたいと願います。

見守る暖かさ

先日ネットサーフィンをしておりますと、「日本看護協会」のページで看護についてエピソードを応募し、表彰しておりました。その中の最優秀をご紹介させていただきます。

「病院まで遠いよ。最期の会話になるかもしれない」、「そんなことない。間に合う」と小声で言い争う男女の声が師走の電車に

揺られていた私の耳に入ってきた。

聞き耳を立てるつもりはなかったが、切羽詰まった男女のやり取りと内容が気になった。

夫婦と思しき二人は携帯電話をのぞき込み会話を続けていた。

「電話したほうが良いよ」「いや人の迷惑になる。駅についてからでいい」。

他の乗客も気になるのか、二人に視線を向けていた。「意識なくても耳は聞こえるって。かけなさいよ。お義父さんまつているよ」

「電車内だからかけられないよ」。お互いに感情が高ぶり、少しづつ声が大きくなっていった。

携帯電話の向こう側で、息を引き取ろうとしている父親がいて、臨終の場に間に合わない状況にあるということは、その場の誰しもが理解できた。

緩和ケア病棟に勤務する私にとっては、静観できない場面であった。病棟では家族から患者への最期の声掛けを、

公開がないように気持ちを伝えることを促してきた。躊躇いながらも席を立ち、二人に近づこうかとした時、

「電話かけたほうがいいですよ」と二人の正面に座っていた女性が声を掛けた。近くにいた乗客も見守りながら頷いている。

背中を押されたように男性が電話を掛ける。「お袋、親父の耳元に携帯電話を置いてくれ」電車内に声が響く。「親父、親父が一生懸命

に働いてくれたから、俺達は腹一杯に飯が食えて、少しもひもじい思いをしなかったよ。心配しないでいから。本当に、本当にありがとう」。静まり返る電車内で嗚咽を懸命に抑える男性。

苦情を言う物などいもしなかった。

二人は何度も乗客に頭を下げながら、目的の駅で降りていった。電車内に師走の喧騒と冷気が入り込む。

しかし、言葉にはできない胸の温かさを私は感じていた。

あの場にいた誰もが、まさに「看護」をしていた。そして誰もが胸の温かさと同様に感じていただろう、

「その声は届いている」と。(日本看護協会)

より 佐賀

県 齋藤泰

臣さん)



心温まる話して感動しました。
今コロナの中、感染拡大が気になり、人を非難してしまう、疑心暗鬼にならざるを得ない状況が続いています。

お互いが感染防止に気を使い合いながら、この電車の場合のように、思い合いながら、優しい社会となることを願います。

お彼岸には六波羅蜜という仏教の修行をおすすめしています。どれか一つでも心に止めて実践してみましよう。

まずは自分の周りから明るい環境であるよう精進していきましょう！

南無大師遍照金剛

六波羅蜜 彼岸へ行くための六つの方法

布施 施しをして欲を離れる。
分かち合う喜びを。

持戒 きまりを守り、さわやかに。

忍辱 がまん、がまん。笑顔を忘れない。

精進 怠けない。あせらない。こつこつと努力

禅定 落ち着いて、落ち着いて。

平常心を忘れない。

智慧 偏見を持たない。

有りのままに現実を見極める。

お彼岸は自分と向き合う

修行期間です

行事のご案内

「秋彼岸会」

九月十九日 十三時半

於 北見別院

九月二十二日 十時

於 津別町福王寺

※津別と北見別院お参りの日付違いますので注意下さい。

※ご遠方で、当日お参り出来なく、ご廻向希望の方は同封の振替用紙をご利用下さい。

※お盆のお参りと同じような形式でお参りしようと思つてます。

寺院 活動報告

今年も、皆様のおかげで「夏の下座行」、「地藏盆」、「盂蘭盆会」を無事に執行させて頂きました。

今年にはコロナの関係で、各お参りが密を避けるために縮小せざるを得ない状況の中ではありませんが、皆様のお陰でお参りすることができました。

お盆には「四国八十八ヶ所お砂踏みの巡礼」もさせて頂き、それぞれにお参り頂きました。

「お参りできてよかつたね」と皆さんの心が満たされるお寺でありたいと思つています。

コロナで様々な変化がある中、そういったお寺であるように精進して行きたいと思つています。是非アイデアなどありましたら、ご意見等ください。

寺院 その他活動

ホームページ案内

津別町福王寺で検索にかかると思っています。

<http://fukuoji.inf>

07

「Facebook」というサイト

で朝のお勤めを

午前六時半頃から、

ほぼ毎日しています。宜しければご参加ください。

